

## 1 労働災害発生状況<平成29年10月末現在>

平成29年10月末時点の死傷者数は354人で、対前年同期比16人増加(4.7%増)しました。

### 主要業種別内訳(発生人数順)

業種	対前年同期比
商業	69人 7人(11.3%)増
建設業	60人 5人(8.3%)減
運輸交通業	45人 4人(9.8%)増
製造業	50人 2人(3.8%)減
林業	12人 4人(25.0%)減

### 事故の型別(発生人数順)

事故の型	構成割合
転倒	116人(32.8%)
墜落・転落	58人(16.4%)
交通事故	29人(8.2%)
はさまれ・巻き込まれ	28人(7.9%)
動作の反動・無理な動作	24人(6.8%)
飛来・落下	23人(6.5%)

昨年1年間(確定値)の状況と比較すると、**転倒災害**は既に昨年1年間の人数(100人)を**16人上回っており**、また、**交通事故**による労働災害も既に昨年1年間の人数(28人)を**1人上回っており**ます。

**転倒災害**が発生した業種については、**商業**が最も多く35人、次いで**運輸交通業**で17人発生しています。なお、**建設業**での発生人数は2人でした。

**交通事故**による労働災害が発生した業種については、**建設業**が最も多く8人、次いで**商業**と**通信業**でそれぞれ5人ずつ発生しています。なお、**運輸交通業**での発生人数は2人でした。

## 2 年末に向けた無災害運動等の取組について

本年も残すところあとわずかとなりました。本年は、県内の設備投資額が増加傾向にあることも影響してか、労働災害も増加傾向になっていますが、年末に向けてさらに経済活動が活発になるとともに、路面凍結による転倒・交通事故の増加も危惧され、一層労働災害の発生が懸念されるところです。

皆様におかれましては、「いわて年末年始無災害運動」の一環として、次の取組への御協力をお願いいたします。

### ア 冬季特有災害の防止

転倒災害の防止(「STOP! 転倒災害プロジェクト」の推進)

車のスリップ事故等交通労働災害の防止

墜落・転落災害の防止

一酸化炭素中毒の防止

### イ リスクアセスメント・危険の見える化の実施

### ウ 「安全決意宣言」の実施

### エ 労働災害防止団体が実施する年末年始無災害運動への参加

# いわて年末年始無災害運動

あなたの安全家族の願い

## 年末年始も無災害

実施期間：平成29年12月1日～平成30年1月31日

準備期間：平成29年11月1日～平成29年11月30日

主唱者：岩手労働局 / 岩手労働災害防止団体連絡協議会

協議会構成団体：(公財)岩手労働基準協会 / 建設業労働災害防止協会岩手県支部 / 陸上貨物運送事業労働災害防止協会岩手県支部 / 林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部 / 港湾貨物運送事業労働災害防止協会東北総支部岩手支部 / (一社)日本砕石協会岩手県支部 / (一社)日本ボイラ協会岩手支部 / (公社)ボイラ・クレーン安全協会岩手事務所 / (公財)岩手県予防医学協会 / (公社)建設荷役車両両安全技術協会岩手県支部 / 岩手県陸砂利工業組合 / (独)労働者健康安全機構岩手産業保健総合支援センター

協賛：岩手県商工会議所連合会 / 岩手県商工会連合会 / 岩手県木造家屋等低層住宅建築工事安全対策協議会